

1. 主要組織とその役割

リハビリテーション部門

乳幼児（0～7才）と家族	----	OT / PT / 教育専門家, 地域の晴眼の子供と一緒に
学童	-----	土曜クラス、サマープログラム
職業相談	-----	パソコン操作技術, 会社への出張説明, etc
生活動作訓練		
ロービジョンケア	-----	眼科医、オプトメトリスト、OTなど
カウンセリング		
移動(Orientation and Mobility)		

教育部門

<対象者>

眼科医 / 看護婦 / オプトメトリスト / リハビリ専門職 / 建築家など
----- International Center on Low Vision
世界各国から。個人ごとにあったプログラム

視覚障害児を持つ親や教師
ボランティア
地域の住民に ----- 年齢と視機能変化、対処法など
不特定多数に定期刊行物 ---
ConsumerTimes (利用者を対象としたニュースレター)
Aging & Vision News (臨床家、研究者、教育者むけに)
Sharing Solutions (障害者とかれらのサポートネットワークについて)

研究部門

国や団体から得た研究費で研究者を雇う
基礎的な視覚機能の研究、文字の視認性、建築（フォント、レイアウト、
評価法...）など応用的なトピックの研究

Printing部門

音声 / 点字 / 拡大文字 への変換 (Vision 99の配付資料も依託)

娯楽(?)部門

ダンス教室
音楽教室 (楽器、声楽、オーケストラ...)
図書館
The Lighthouse Store (用品の販売、カタログ販売、オンライン販売)
カフェテリア

2. 特に印象深かった点

明るいいメージでオープン	視覚障害者への宣伝 (outreach)
研究部門の充実	医療との緊密な連携
幅広い対象者への教育	